

# 基本的心理欲求充足と社会情動的スキルの関連

教育実践高度化専攻 児童生徒発達支援コース 生徒指導・教育相談系  
氏名（鹿島 恵理）

本研究では、基本的心理欲求充足と社会情動的スキル（「SEL8S」の8つの能力）との関連を検討した。小学生3～6年生を対象に質問紙調査を実施した。

第一に、性別に検討した結果、(a)「自己への気づき」のみ性差が見られ、男女の「有能感」に加えて、男子の「自律性」、女子の「関係性」と正の関連が見られた。また、(b)「自律性」と「関係性」は相補的に社会情動的スキルと関連する可能性、(c)「有能感」は「自律性」と「関係性」と両立して社会情動的スキルと関連する可能性が示唆された。

第二に、学年別（中学年・高学年）に検討した結果、(d)8項目中6項目において学年差が認められ、(e)中学年では「自律性」、高学年では「関係性」が社会情動的スキルを高める上で重要になる可能性が示唆された。

これらから、小学生の社会情動的スキルを高めるためには(f)児童の基本的心理欲求充足を考慮した介入も有効であることが示唆された。